

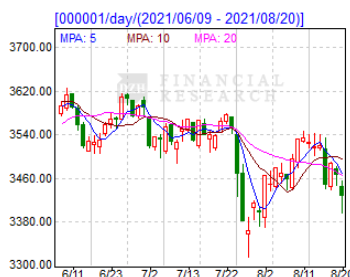


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,120.08	225.96	0.65	-1.11	14.75	30,606.48
NASDAQ	14,714.66	172.87	1.19	-0.73	14.17	12,888.28
日経225	27,013.25	-267.92	-0.98	-3.45	-1.57	27,444.17
上海総合	3,427.33	-38.22	-1.10	-2.53	-1.32	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,769.27	-92.87	-1.91	-3.57	-8.48	5,211.29
ハンセン	24,849.72	-466.61	-1.84	-5.84	-8.75	27,231.13
中国企業	8,742.44	-173.58	-1.95	-6.78	-18.59	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は5.8%安と3週ぶり反落、上海総合指数は2.5%安

香港市場ではハンセン指数が週間で5.8%安と3週ぶりに反落。17日に終値で26000ポイント、20日には25000ポイントを割り込み、週間の下落率は1年5カ月ぶりの大きさとなった。中国の景気減速や中国当局による企業統制の強化、新型コロナの世界的な感染拡大などが警戒され、ネット関連株などを中心に幅広いセクターで売りが広がった。本土市場では上海総合指数が2.5%安と3週ぶりに反落。弱い経済指標の発表や当局の規制強化の動きが警戒され、20日には一時3400ポイント割れの水準まで売られた。

### 今週の展望:香港市場は神経質な展開か、中国当局による統制強化懸念くすぶる

香港市場は神経質な展開が予想される。ハンセン指数は先週の大幅下落でリバウンドが期待されるものの、中国当局による企業統制強化の動きが続くなか、積極的にリスクを取りにくい状況。米国のテーパリングを巡っては27日にジャクソンホール会議が予定されており、週末にかけて様子見姿勢が強まる可能性もある。一方、上場企業の中間決算発表がピークを迎えるなか、個別物色の動きは強まりそうだ。本土市場も今週は神経質な展開が予想される。景気の鈍化や企業統制の強化が引き続き相場の重しとなる公算が大きい。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 申洲国際集団(02313)	184.10	3.89
2 AIAグループ(01299)	95.60	2.96
3 新鴻基地産(00016)	113.00	2.91
4 烽火・ユコム(00762)	4.43	1.61
5 Link REIT(00823)	74.00	1.44
6 中電控股(00002)	78.80	1.35
7 ホンコン・ファイナ(00003)	12.90	1.10
8 中国建設銀行(00939)	5.63	0.54
9 電能実業(00006)	49.70	0.30
10 長江インフラ(01038)	46.95	-0.11

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 阿里健康(00241)	9.97	-18.68
2 美团(03690)	193.40	-17.14
3 アリババ集団(09988)	157.90	-14.18
4 薬明生物技術(02269)	105.30	-13.97
5 海底撈国際(06862)	27.10	-13.83
6 碧桂園服務(06098)	53.95	-12.35
7 ペトロファイナ(00857)	2.98	-11.83
8 サンス・ファイナ(01928)	22.35	-11.13
9 万洲国際(00288)	5.84	-11.11
10 恒安国際集団(01044)	41.10	-11.04

## ▼今週の主なイベント

- 8月26日(木)
- 【香港】貿易統計(7月)
- 【米国】GDP改定値(4-6月)
- 8月27日(金)
- 【中国】工業企業利益(7月)
- 【米国】ジャクソンホール会議

## ▼今週の期待材料

- ◆全人代常務委員会が1組の夫婦に3人目の出産を認める改正人口・計画出生法を可決、20日付で施行
- ◆ハンセン指数が先週5.8%安と週間で1年5カ月ぶりの大幅下落、値ごろ感の出た銘柄には買い戻しも
- ◆中国A株企業の6月中間決算が好調、16日までに発表した1382社の合計は前年同期比54%増益

## ▼今週の懸念材料

- ◆世界的な新型コロナの感染再拡大で景気の先行きに警戒感、中国でも7月の経済指標は軒並み予想下振れ
- ◆中国当局による企業統制強化への警戒感続く公算、全人代常務委員会が個人情報保護法を可決
- ◆27日開催の米ジャクソンホール会議でパウエルFRB議長が講演、テーパリング巡り様子見姿勢強まる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 7月の5G加入純増数が6%増加、20日にA株も上場
- ☆ ペトロチャイナ (00857) : 26日に6月中間決算を発表、市場予想は黒字転換
- ☆ 信義ガラス (00868) : ハンセン指数への新規採用が決定、9月6日付で発効
- ☆ 石薬集団 (01093) : 26日に6月中間決算を発表、市場予想は28%増益
- ☆ 小米集団 (01810) : 25日に6月中間決算を発表、市場予想は99%の大幅増益
- ☆ 安踏体育用品 (02020) : 24日に6月中間決算を発表、市場予想は純利益2.1倍
- ☆ 李寧 (02331) : ハンセン指数と中国企業指数に同時採用が決定、9月6日付で発効
- ★ 華潤置地 (01109) : 25日に6月中間決算を発表、市場予想は19%減益
- ★ BYD (01211) : 27日に6月中間決算を発表、市場予想は48%減益
- ★ 交通銀行 (03328) : ハンセン指数からの除外が決定、9月6日付で発効

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。